

※1. 発電所の概要 (4)出力を修正いたしました。

<別紙>

横浜火力発電所におけるガスタービン等の取替工事について

1. 発電所の概要

- (1) 所在地 横浜市鶴見区大黒町 11-1
- (2) 所長 むらやま きよし 村山 潔
- (3) 敷地面積 約 44 万 m²
- (4) 出力 348.7 万 kW (※1)
- (5) 設備概要

発電設備	概要	
5号機※	出力	17.5万kW
	発電システム	汽力発電
	発電効率	41.6% (低位発熱量基準)
	燃料	LNG (液化天然ガス)
	運転開始	1964年3月
6号機※	出力	35.0万kW
	発電システム	汽力発電
	発電効率	42.2% (低位発熱量基準)
	燃料	LNG (液化天然ガス)
	運転開始	1968年6月
7号系列	出力	148.1万kW (35万kW×1軸、37.7万kW×3軸)
	発電システム	1300℃級コンバインドサイクル発電 (ACC)
	発電効率	7-3軸 : 54.1% 7-1、2、4軸 : 55.8% (低位発熱量基準)
	燃料	LNG (液化天然ガス)
	運転開始	1998年1月 (全軸運開) 2015年7月 7-2軸ガスタービン取替 2016年7月 7-1軸ガスタービン取替 2016年12月 7-4軸ガスタービン取替
8号系列	出力	148.1万kW (35万kW×1軸、37.7万kW×3軸)
	発電システム	1300℃級コンバインドサイクル発電 (ACC)
	発電効率	8-2軸 : 54.1% 8-1、3、4軸 : 55.8% (低位発熱量基準)
	燃料	LNG (液化天然ガス)
	運転開始	1998年1月 (全軸運開) 2016年1月 8-3軸ガスタービン取替 2016年5月 8-4軸ガスタービン取替 2017年4月 8-1軸ガスタービン取替

※1~4号機については廃止、5・6号機は2016年4月1日より長期計画停止中

2. 7号系列および8号系列のガスタービン等の取替工事計画

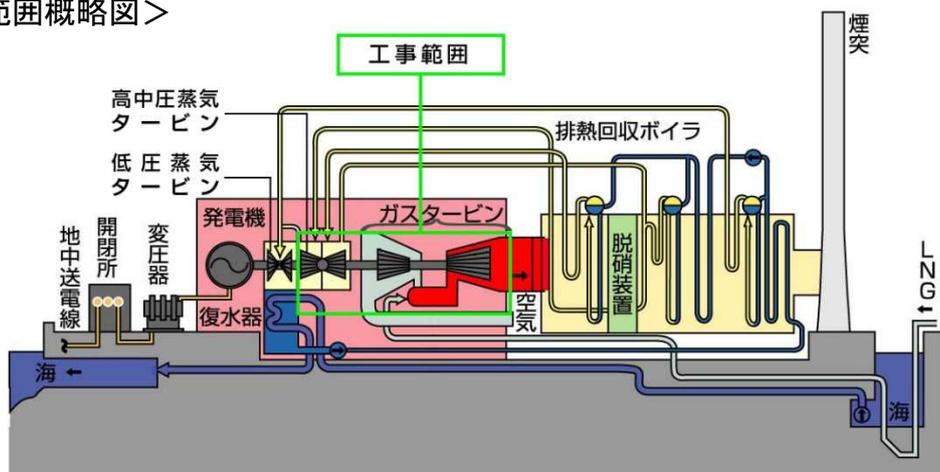
	横浜火力7号系列				横浜火力8号系列			
	第1軸	第2軸	第3軸	第4軸	第1軸	第2軸	第3軸	第4軸
定格出力	各35万kW→ 37.7万kW 4軸計140万kW→ 150.8万kW				各35万kW→ 37.7万kW 4軸計140万kW→ 150.8万kW			
運転開始年月	1998年1月				1998年1月			
設計発電効率(LHV)	54.1%→ 55.8%				54.1%→ 55.8%			
発電種別	LNG (ACC)				LNG (ACC)			
工事完了後の運転再開時期	2016年 7月 (完了)	2015年 7月 (完了)	2017年 8月	2016年 12月 (完了)	2017年 4月 (完了)	2018年 1月	2016年 1月 (完了)	2016年 5月 (完了)

3. ガスタービン等の取替工事内容

ガスタービンと高中圧蒸気タービンを取り替えることにより、発電効率の向上および増出力を図るもの。

なお、排熱回収ボイラ、低圧蒸気タービン、発電機、補機等は既存設備を利用する。

<工事範囲概略図>



<ガスタービンの取替工事の様子（7号系列第2軸取替時）>



新しいガスタービン設備本体の吊り上げ作業



新しいガスタービン設備（ローター）の吊り込み作業



ガスタービン設備分解作業

※火力発電所の燃料費削減を目的とした設備対策につきましては、ホームページでも解説しています。

URL: <http://www.tepco.co.jp/fp/challenge/reduction/equipment/index-j.html>

以上